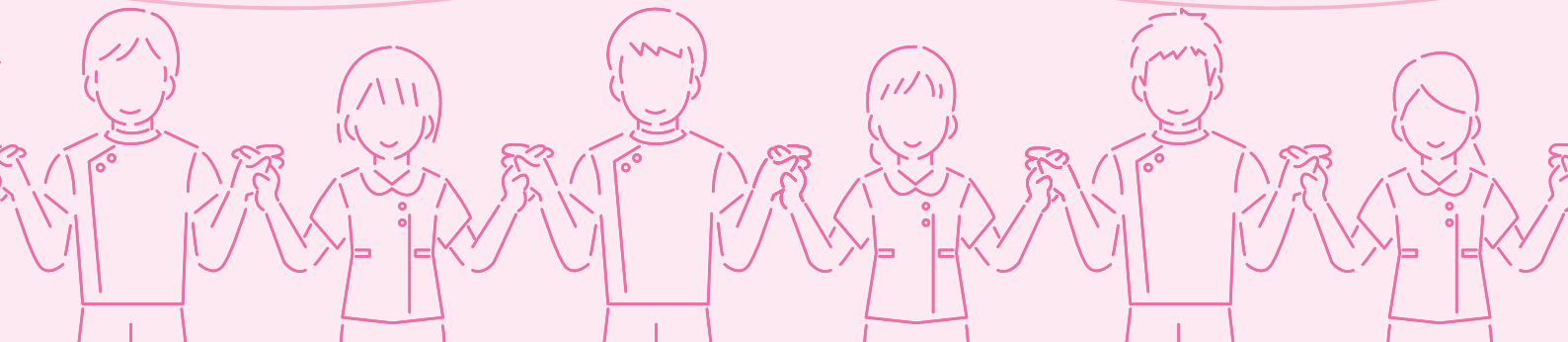


看護学科 地域定着枠(キャリア形成支援枠)

キャリアサポート ガイド

～青森県で看護職として働きたい、青森県の高校生の皆さんへ～



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学

令和6年6月改訂版

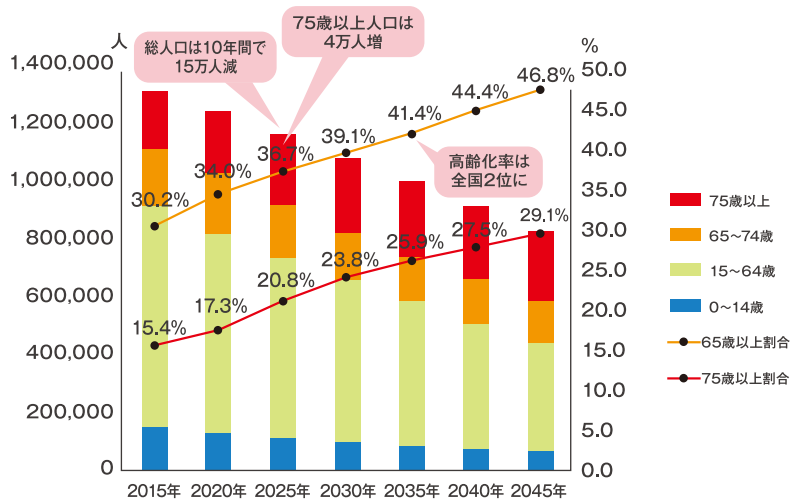
地域定着枠(キャリア形成支援枠)とは?

これからの地域に求められる看護職になれるよう、
本学と地域の病院等が、在学中から就職後も、連携・協力してあなたのキャリアを支援します。

地域定着枠(キャリア形成支援枠)設置の背景

青森県では、人口減少・少子高齢化が
全国よりも速いスピードで進行しています。

青森県の将来推計人口・高齢化率



〈地域の人々が望んでいることは?〉



〈地域全体で求められていることは?〉
～地域包括ケアの推進～

そのような中で…



病気になったりした方々を
地域全体で支えること

それぞれの病院等が連携して
患者さんを支える仕組みを
整えること

このように、地域全体で地域の人々を支えることが求められており、
それに対応できる看護職の育成が必要となっています。

これからは、地域の各病院や診療所等が連携し、地域の人々を地域全体で支えることが必要です。

看護職が急性期の病院に勤務しても、退院後の回復期、慢性期、在宅医療など、患者さんの症状に応じた看護のケアのあり方を理解し、患者さんに安心して地域に戻っていただけるようなサービスを提供することは、これからの地域にとってとても大切です。

〈イメージ図〉



地域全体で支えるうえで、看護職に求められることは…

- ① それぞれの病院等の機能がわかること
- ② 地域の関係機関との連携に強いこと
- ③ 地域全体の医療を理解できること
- ④ 総合力・実践力を有すること



地域定着枠(キャリア形成支援枠)では、このような地域包括ケアを推進する看護職を育成します！

地域定着枠(キャリア形成支援枠)で入学するには?

看護学科の学校推薦型選抜入試(地域定着枠(キャリア形成支援枠))を受験します。

募集人員

青森県内者 5名

出願資格

- ①合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- ②調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者
- ③本学ホームページに掲載する「地域定着枠説明動画」を視聴し、正確に理解した上で、「地域定着枠理解度チェックシート」を提出する者
- ④将来、青森県内の看護職として従事しようとする強い意志を持ち、「キャリアサポートプログラム」(*)に参加する強い意志を出願時に確約書として提出できる者等



選抜方法

次の内容を総合して選抜します。

- ①小論文 ②志望理由書 ③高校での学びを振り返る作文 ④面接 ⑤プレゼンテーション* ⑥調査書

*「居住している市町村はどなたどこか」をテーマに5分間のプレゼンテーションをしていただき、質疑応答を行います。また、地域定着枠(キャリア形成支援枠)についての理解度を確認します。(地域定着枠(キャリア形成支援枠)で不合格となった者は、学校推薦型選抜(一般/県内者)に組み入れて合否判定します。)

地域定着枠(キャリア形成支援枠)の学生の声



3年生(令和4年度入学)

小田桐 舜さん

私が入試で行ったプレゼンテーションは、青森市の若年層の健康診断受診率をどのようにしたら上げられるかということについてです。青森市は平均寿命がとても短く全国でも最下位レベルですよ。このことから、若い人の寿命を伸ばせば平均寿命も伸びるということを思いつき、若年層の健康診断に力を入れる必要があると考えました。対策としてマイナポイントの付与など、かなりオリジナリティを持たせてみました。受験準備期間は毎日プレゼンに触れ、改善に改善を重ねてきました。いいものを作れるように最後まで頑張ってください。



4年生(令和3年度入学)

小山内 夢叶さん

私は小論文対策として、英単語帳のわからなかった単語を市販の単語カードに書き、空き時間に復習する方法で勉強していました。プレゼンテーションでは、自分が居住している市町村について紙芝居を作成しました。地元の健康課題やその対策を町の保健師さんに直接聞きに行き、頂いた回答や資料を紙芝居作成に役立てました。自ら行動をすることは大切だと思います! 作文は、高校の先生からお題をもらい、時間内に最後まで書き上げられるように練習をしました。面接は練習も本番も笑顔を忘れず、自分が伝えたいことをしっかり伝えるように意識して臨みました。



地域定着枠説明動画は
こちらから
アクセスできます



*キャリアサポートプログラムとは?

6のページで
説明しています。



詳しくは、募集要項をご覧ください。

専属のコーディネーターとチューターが、あなたのキャリアを強力にサポートします。



◀ キャリアサポートコーディネーター

入学時から就職後も、定期的なミーティングを行うほか、随時の面談・相談などに応じ、キャリアを支援します。



◀ チューター(看護学科教員)

学生一人ひとりの様々な状況を把握して、継続的に学生支援を行います。

1 年次

各圏域の特徴や、圏域ごとの中核病院の役割等について理解を深めます。

- ① 学生の皆さんは、地域定着卒のねらい、支援の具体的な内容、スケジュール等について説明を受け、理解を深めます。
- ② 中核病院・その他の急性期の病院の看護管理者との交流会に参加し、意見交換ができます。

2 年次

将来の就職先について、検討を行います。

- ① 中核病院等が作成したキャリアサポートモデルプログラムの中から、自分が目指す看護職像に適したプログラムを検討します。
- ② 希望する中核病院等の見学ができます。

定期的なミーティング

他学年との顔合わせや情報交換を行いました。顔合わせをしたことで先輩や先生方との関わりが増えました。自分の悩みや不安がある時に各々先輩方や先生方と連絡を取り、気軽に相談ができるようになりました。



病院見学(報告会の様子)

実際に病院を見学することで新たに気づくこともあり、将来のイメージがしやすくなります。すべての病院見学を終えた後に行う報告会は、他の病院の情報共有ができるとても有意義な時間です。



看護管理者との交流会

事前に各病院からの資料を読み込み、疑問に思ふことを質問したり、自分の将来の看護職像と病院がマッチしているかどうかを考えたりできる貴重な機会でした。1年生と2年生では質問する内容も大きく変わり、一緒に交流する中で多くの視点や考え方を得ることもできました。



キャリアサポートコーディネーターとの個人面談

面談は年に2回あり、今後の進路相談などに親身に対応してくれます。学校生活や日常のたわいもないお話もでき、和やかな雰囲気でお話できます。

在学中は、コーディネーターやチューターによる支援を受けられます。

支援が受けられるの？

3年次

具体的な就職先を決定します。

- ① 希望する病院等で3~5日のインターンシップができます。
- ② あなたの勤務に関する希望や意向を確認し、あなたに合ったキャリアサポートプログラムが作成されます(3~4年生)。
- ③ 保健師または助産師の資格取得を希望する場合は、一般の学生と同様に、選抜試験を受けることができます。

4年次

希望する病院に就職できるよう支援を受けられます。

- ① コーディネーターやチューターから、就職試験対策の支援を受けることができます。
- ② 希望する中核病院等の採用試験を受けます。

インターンシップ参加学生から

病院・病棟内の雰囲気、働いている看護師のリアルな動線、看護師の患者に対する接し方、多職種との協働の方法・雰囲気、新人看護師に対する先輩看護師の指導のあり方など、臨床の場に出ないと経験できないことを経験出来ました。自分の中のイメージと実際の医療現場のギャップを小さくすることが出来た良い機会となりました。



地域定着枠(キャリア形成支援枠)に入ってよかったことは？

1,2年次に看護管理者との交流会や病院見学等があり、実際に看護師さんとお話できたり、病院で働いている様子を見学できたりするので、自分がその病院で働くイメージが湧き、早いうちから就職について考えることができます！

他にも、年に2回ほどキャリアサポートコーディネーターとの面談があり、地域定着枠のことはもちろん、普段の学生生活のことまで相談に乗ってもらえます！

また、活動をサポートしてくださる先生方や一緒に頑張る仲間がいるのでとても心強いです！

私たちと一緒に青森県で活躍できる看護職を目指しませんか？



オープンキャンパスでの個別相談

大学のオープンキャンパスでは実際に私たちとお話することができます！

みなさんとお話できるのを楽しみにしています！



Q&A

Q. どうして、地域定着枠(キャリア形成支援枠)を選んだの？

A. 「地元青森に貢献したい！」

「高校の先生に勧めてもらった！」

Q. 受験のために準備した方がいいものは？

A. 「やる気」と「地元愛」！

在学中は、コーディネーターやチューターによる支援を受けられます。

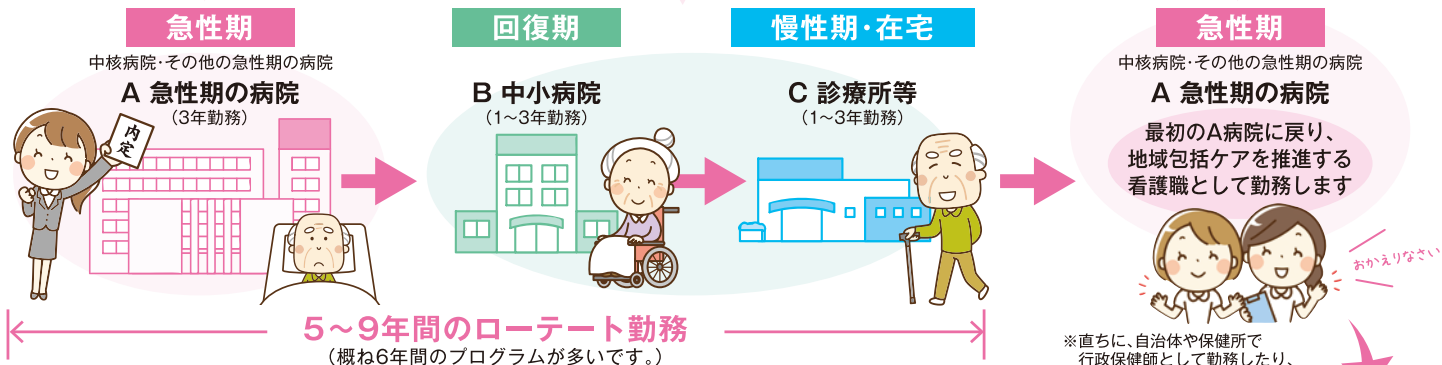
卒業後はどのようにキャリア形成できるの？

卒業後は、キャリアサポートプログラムに基づいて、ローテート勤務します。

① 急性期の病院(中核病院等)に就職し、勤務します。

② 連携する回復期の中小病院、慢性期・在宅医療の診療所等を、一定期間、ローテート勤務します。

③ 急性期の病院(中核病院等)に戻ります。



※直ちに、自治体や保健所で行政保健師として勤務したり、回復期等の施設で勤務することはできませんので、注意してください。

卒業後・就職後も、大学と地域の中核病院等の支援のもと、安心して勤務できます。

- ① 就職した急性期の病院と連携する病院等(ローテート勤務先)との顔合わせにコーディネーターと共に参加します。
- ② 安心して勤務ができるよう、コーディネーターは、就職先の看護管理者等と定期的に情報交換を行います。
- ③ ローテート勤務中は、コーディネーターとのミーティングを定期的に設けます。情報交換、相談等ができます。
- ④ 大学と中核病院等が、プログラムを適切に運用・進捗管理しますので、安心して勤務できます。
- ⑤ 就職後も、地域定着卒の卒業生同士や在学生との交流を行います。

例) 現状報告会、在学生との情報交換会等を各年1回程度開催します。

さらにキャリアアップしたい方は…

- **本学大学院へ!**
大学院では、がん看護専門看護師コースや修士論文コースで、継続的な学びを支えています。
- **専門資格の取得**
所定の実務経験等を経て、認定看護師や学会等が認定している資格取得を目指すこともできます。

地域定着卒(キャリア形成支援卒)に連携・協力して取り組む急性期の病院

青森圏域

- ・青森県立中央病院
- ・医療法人芙蓉会芙蓉会病院
- ・社団法人慈恵会青森慈恵会病院
- ・医療法人雄心会青森新都市病院

津軽圏域

- ・津軽保健生活協同組合健生病院
- ・一般財団法人黎明郷
- 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

八戸圏域

- ・八戸市立市民病院

西北五圏域

- ・つがる西北五広域連合
- つがる総合病院

上十三圏域

- ・十和田市立中央病院

下北圏域

- ・一部事務組合下北医療センターむつ総合病院

※最新の情報は本学ホームページに掲載中です。

地域定着枠(キャリア形成支援枠)の概要について

「地域定着枠(キャリア形成支援枠)」は、本学と地域の病院等が、皆さんを、在学中から就職後も、連携・協力して支援し、地域に求められる看護職を育成することを目的として設置しました。

その特色は、急性期から回復期、慢性期・在宅医療までを一定期間経験することによって、それぞれの病院等の機能を知り、地域の関係機関との連携に強く、地域全体の医療を理解し、総合力・実践力を有する看護職を育成することにあります。学生が安心して勤務・経験できるよう、本学と地域の病院等とが、連携・協力して、支援していきます。

募集人員は、青森県内者5名です。学校推薦型選抜<地域定着枠(キャリア形成支援枠)>により選抜します。

地域への愛着を持って、真に地域を支えられる看護職を育てます。

地域に求められる看護職を目指したい皆さんを

「看護学科地域定着枠(キャリア形成支援枠)」では待っています。

青森県立保健大学キャリア開発センター

お問い合わせ カリア開発・研究推進課

TEL:017-765-4085 Eメール:c_teichaku@auhw.ac.jp

Webサイト:<https://www.auhw.ac.jp/carrier/chiikiteichaku/index.html>

※青森県立保健大学入学者選抜試験については、入学者選抜要項等を御確認ください。



こちらからも
アクセスできます!



もっと知りたいあなたへ
Webサイトで
Q&Aを公開中!

